



投資家様向け

# 会社説明会資料

株式会社オプティマスグループ  
東証スタンダード市場  
(証券コード9268)  
2023年9月

目次

**04** 会社概要

**09** 事業内容/ビジネスモデル

**14** 今後の事業戦略と展望

**23** Appendix



**04** 会社概要

09 事業内容/ビジネスモデル

14 今後の事業戦略と展望

23 Appendix



# 会社概要



会社名	株式会社オプティマスグループ
設立	2015年 1月
資本金	4億5,209万円
代表取締役社長	山中 信哉
本社	東京都港区芝2-5-6 芝256スクエアビル8F
事業内容	グループ会社の経営管理、およびそれに付随する業務 (主たるグループ会社の事業内容：貿易事業、物流事業、サービス事業、検査事業)
連結子会社	19社 (国内：4社、海外：15社) (2023年3月31日現在)
従業員数	単体：36名 連結：475名 (2023年3月31日現在)

# 当社グループの歴史～沿革～

これまでの足取り (主な出来事)				
1988年 4月	日本	(株)日貿・ジャパントレーディング(現 (株)日貿) 設立		貿易セグメント
1989年 5月		ニュージーランド向け中古自動車輸出事業に着手		
2001年 9月	日本	(株)JEVIC (旧 (株)日本輸出自動車検査センター) 設立		検査セグメント
2012年 2月	NZ	Dolphin Shipping Agencies (現 Dolphin Shipping New Zealand Ltd) 設立		物流セグメント
2013年 2月	NZ	Vehicle Inspection New Zealand Ltd (VINZ) TOBにより子会社化		検査セグメント
2015年 1月	日本	(株)オプティマスグループ 設立 (傘下グループ会社25社)		
2015年 2月	NZ	Universal Finance Company Ltd 設立		サービスセグメント
2017年 12月	日本	(株)オプティマスグループ 東京証券取引所 市場第二部上場 (傘下グループ会社27社)		
2019年 11月	オーストラリア	OzCar Pty Ltdと事業提携、オーストラリア展開のプラットフォーム構築		オーストラリア
2022年11月	オーストラリア	Blue Flag Pty Ltdの株式を追加取得し子会社化		オーストラリア
2023年4月～	オーストラリア	Auto Advance Finance Australia Pty Ltd 設立 Car Empire Pty Ltd 設立 IWholesaleCars Pty Ltd 設立 Auto Edge Australia Pty Ltd 設立		オーストラリア

## 経営理念

正しく公平な経営により、最善の貢献を図る

## グループビジョン

楽しく安全な移動手段と、一人一人に最適なサービスを提供する事業を究める  
新しい価値や革新的なサービスを創り出し、未来に向かって事業を拓く  
すべてのステークホルダーと自然との共栄を図り、世界人としてグローバル社会の発展に貢献する

## 行動指針

- ◆ **情熱** - 仕事を楽しみ、情熱をもって仕事をする
- ◆ **挑戦** - 既成概念にとらわれず、常に挑戦する
- ◆ **不撓不屈** - 絶対に諦めず、信念を持って前進し続ける
- ◆ **プロフェッショナリズム** - プロフェッショナルとしての誇りと責任を持ってサービスを提供する
- ◆ **感謝** - ステークホルダーのご支援に感謝し、ご縁を大切にする
- ◆ **チームワーク** - チームのすべてのメンバーを尊重し、思いやりを持って行動する
- ◆ **献身と調和** - 正しく献身的に仕事をし、社会と調和を図る
- ◆ **社会への責任** - 一人一人が会社を担う一員である自覚を持ち、社会に対する責任を果たす

日本：5社 ニュージーランド(NZ)：12社 オーストラリア(豪州)：9社 インドネシア(尼国)：1社

## 【グループ本社・地域統括会社】

株式会社オプティマスグループ

OPTIMUS GROUP New Zealand Limited (NZ)

OPTIMUS GROUP Australia Pty Ltd (豪州)

## 【貿易セグメント】

株式会社日貿 (日本)

PT Oto Bid Indonesia (尼国)

## 【物流セグメント】

大和ロジスティクス株式会社 (日本)

ポートサービス株式会社 (日本)

Dolphin Shipping New Zealand Limited (NZ)

## 【検査セグメント】

株式会社JEVIC (日本)

Inspicere Limited (NZ)

Vehicle Inspection New Zealand Limited (NZ)

JEVIC NZ Limited (NZ)

## 【サービスセグメント】

Universal Finance Company Limited (NZ)

Auto Advance Finance Limited (NZ)

Auto Finance Direct Limited (NZ)

FastTrack Automotive Compliance 2006 Limited (NZ)

Trade Cars Limited (NZ)

Universal Property Limited (NZ)

Budget Car Auctions 2013 Limited (NZ)

## 【オーストラリアセグメント】

Global Carz Pty Ltd (豪州)

Dolphin Shipping Australia Pty Ltd (豪州)

Blue Flag Pty Ltd (豪州)

Auto Advance Finance Australia Pty Ltd (豪州)

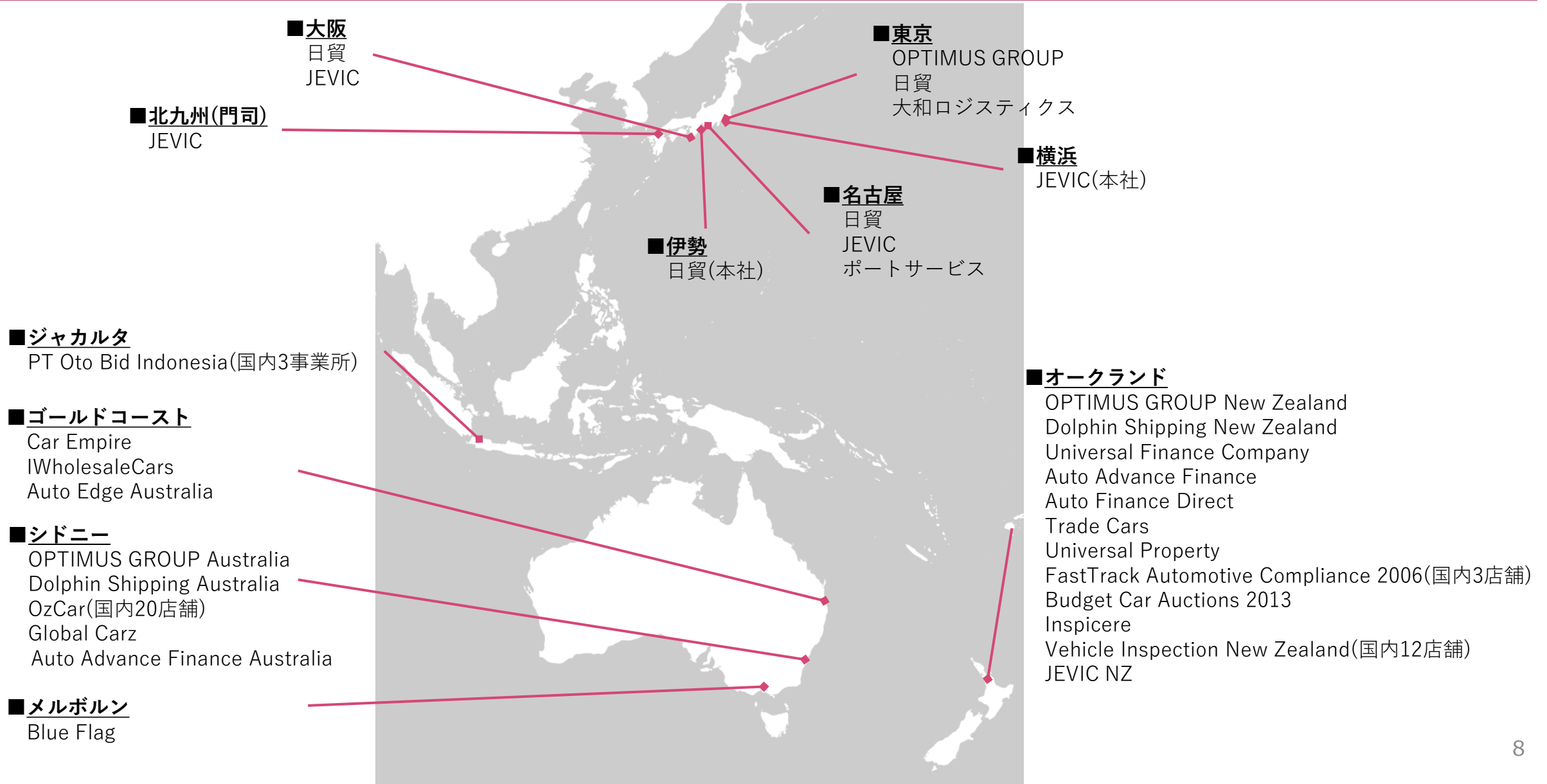
OzCar Pty Ltd (豪州)

Car Empire Pty Ltd (豪州)

IWholesaleCars Pty Ltd (豪州)

Auto Edge Australia Pty Ltd (豪州)

# グループ会社所在地(2023年9月1日現在)





04 会社概要

09 事業内容/ビジネスモデル

14 今後の事業戦略と展望

23 Appendix



# 事業内容/ビジネスモデル

■ニュージーランド：当社グループの主要市場、ニュージーランドでは、日本からエンドユーザーに中古自動車をお届けする“仕入れから、清掃・整備、検査・検疫、通関、海上輸送”、さらに“現地での整備・車検、部品販売や顧客であるディーラーの販売促進を支援する消費者向けオートローン”まで、一貫して当社グループ内で行うことで、高い品質のサービス提供を可能とし、お客様に最適・最善(OPTIMUS)な商品・サービスをご提供しています。お客様のあらゆるニーズに一貫してお答えする当社グループの仕組みを、わたしたちは「バリューチェーン」と呼んでいます。



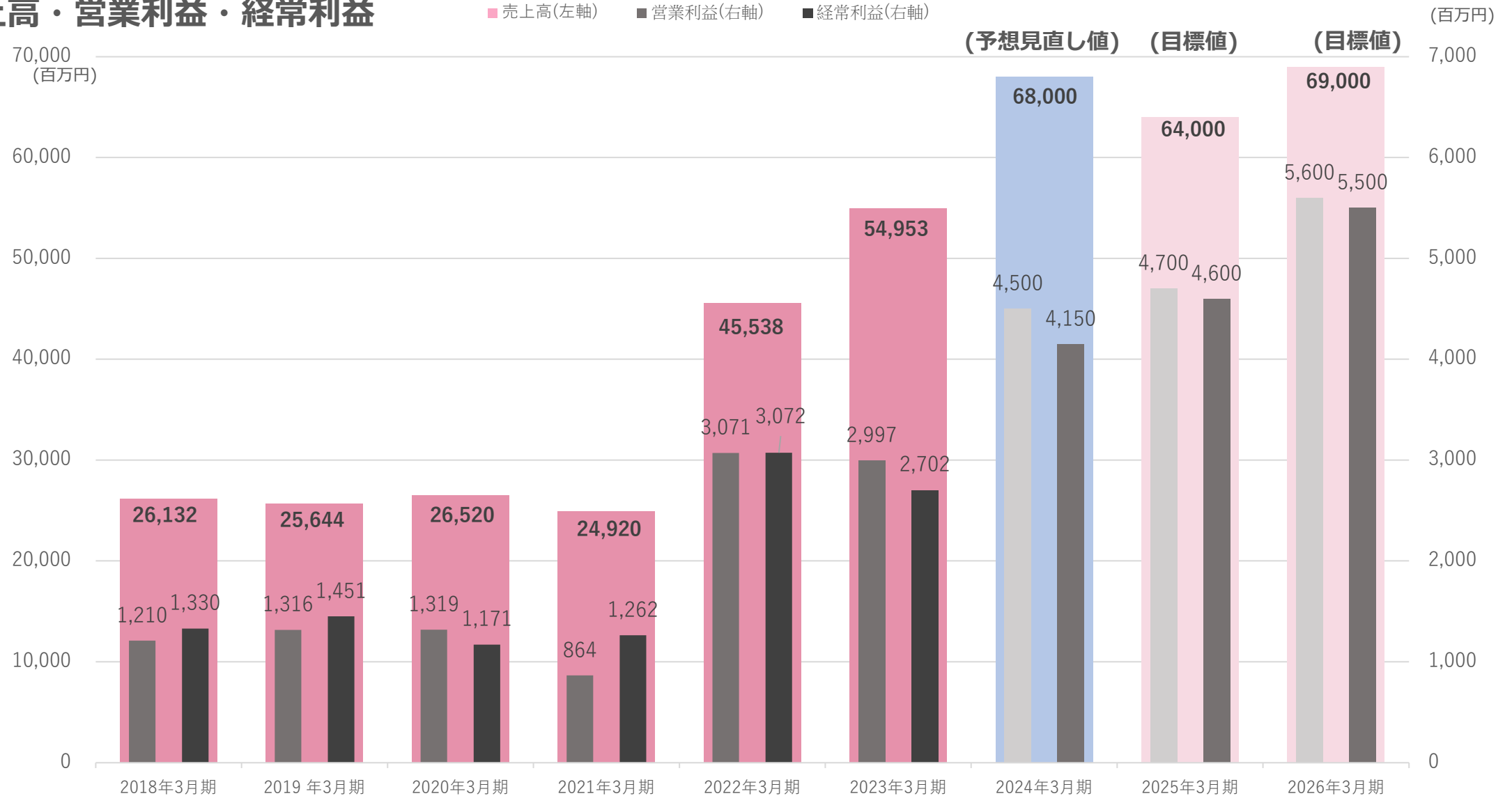
■オーストラリア：一方、事業開発を進めているオーストラリアはNZと市場構造が異なるため、国内で生じる中古自動車の仕入・販売事業をプラットフォームとして周辺事業への展開を目指しています。当社グループの強みを活かし、大きく成長できるチャンスを見出しております。



# 上場後業績・中期定量計画(2024年3月期～2026年3月期)



## 売上高・営業利益・経常利益



# 業績・中期定量計画(2024年3月期～2026年3月期)



単位：百万円	2018年 3月期実績	2019年 3月期実績	2020年 3月期実績	2021年 3月期実績	2022年 3月期実績	2023年 3月期実績	2024年 3月期予想 見直し	2025年 3月期目標	2026年 3月期目標
売上高	26,132	25,644	26,520	24,920	45,538	54,953	68,000	64,000	69,000
営業利益	1,210	1,316	1,319	864	3,071	2,997	4,500	4,700	5,600
経常利益	1,330	1,451	1,171	1,262	3,072	2,702	4,150	4,600	5,500
親会社株主に 帰属する 当期純利益	909	1,573	713	953	2,544	2,312	2,600	2,800	3,400

※2024年3月期のみ1NZ\$=82円で想定。2025年3月期以降は1NZ\$=80円で想定

**配当性向**  
**30%**  
(事業用資産のリサイクル原  
資を除く)

**ROE**  
**15%以上**

**Debt Equity**  
**2 : 1**

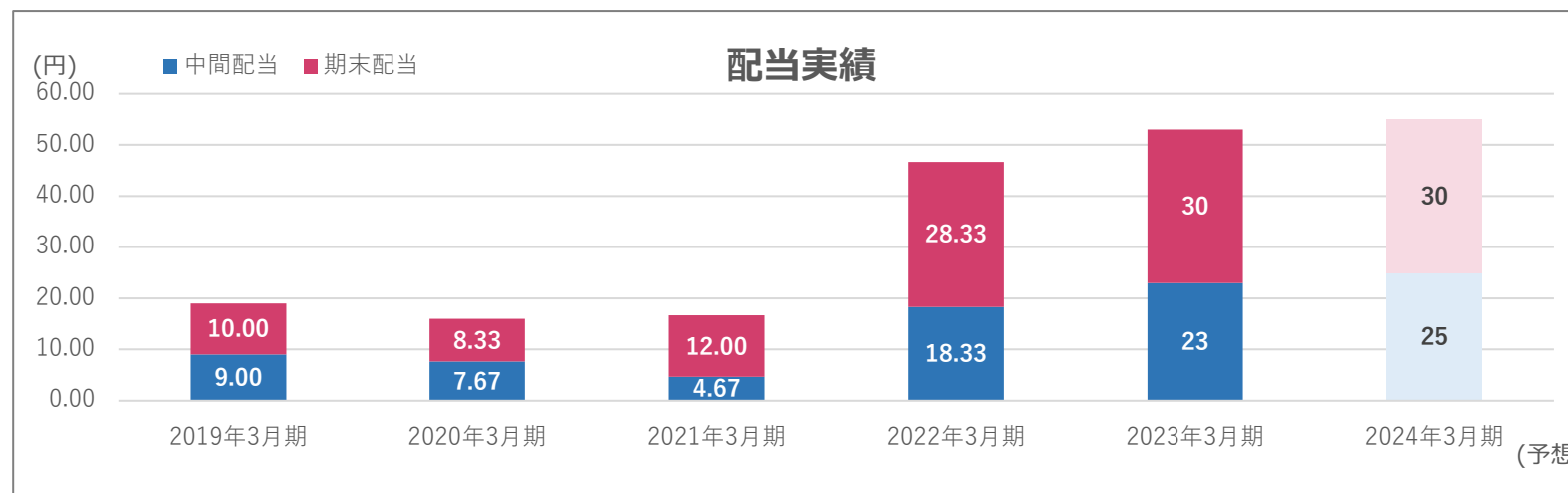
**オートローン債権  
/連結流動資産**  
**40%以下**

# 配当実績と今期予想配当

■当社は株主の皆様に対する安定的な利益還元と継続的な企業の成長の双方を経営の最重要課題の一つとして位置付けております。

■当社が決算短信等で従前公表しております配当性向につきましてははいずれ再投資に振り向ける事業用資産のリサイクルに係る特別利益計上分などを除外した純利益を原資とし、今後も30%程度を維持する方針です。

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 (予想)
中間配当	9.00	7.67	4.67	18.33	23.00	25.00
期末配当	10.00	8.33	12.00	28.33	30.00	30.00
配当合計	19.00	16.00	16.67	46.67	53.00	55.00



※ 当社は、2022年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2018年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、過去の配当実績及び今期配当予想を算定しております。

- 04 会社概要
- 09 事業内容/ビジネスモデル
- 14 今後の事業戦略と展望**
- 23 Appendix



## ■ 事業戦略

### □ ニュージーランドモデルの強化

バリューチェーン（輸出・ロジスティクス・検査・金融サービス・卸売・アフターサービス）の強化・延伸

### □ オーストラリアモデルの構築

中古自動車国内販売・データ販売事業をコアに周辺事業を創出、市場に適した新たなバリューチェーンを構築

### □ 新市場への展開

ニュージーランド・オーストラリアモデルを基礎に新市場への展開を模索

## ■ 展望

	ニュージーランドモデルの強化 ⇒	オーストラリアモデルの構築 ⇒	新市場への展開 ⇒
グループ連結売上高	600億円 ⇒	700億円 ⇒	1,000億円 ⇒
経常利益	40億円 ⇒	60億円 ⇒	80億円 ⇒
税引後利益	25億円 ⇒	35億円 ⇒	50億円 ⇒

## チャレンジの継続

### ■ 既存事業の収益力強化

ニュージーランドモデル(バリューチェーン)の強化、他地域への展開

### ■ 新規事業による成長

オーストラリアモデルの構築、新市場への足掛かり

## 経営資源の効率追求

### ■ 効率化追求による経営コストの削減







内外間接部門業務のシェアードサービス化推進、資金調達・運用の進化

### ■ 事業発展を支える市場政策と経営人材育成

中期的な事業戦略を確りと伝えるIR活動、グループ経営人材の育成



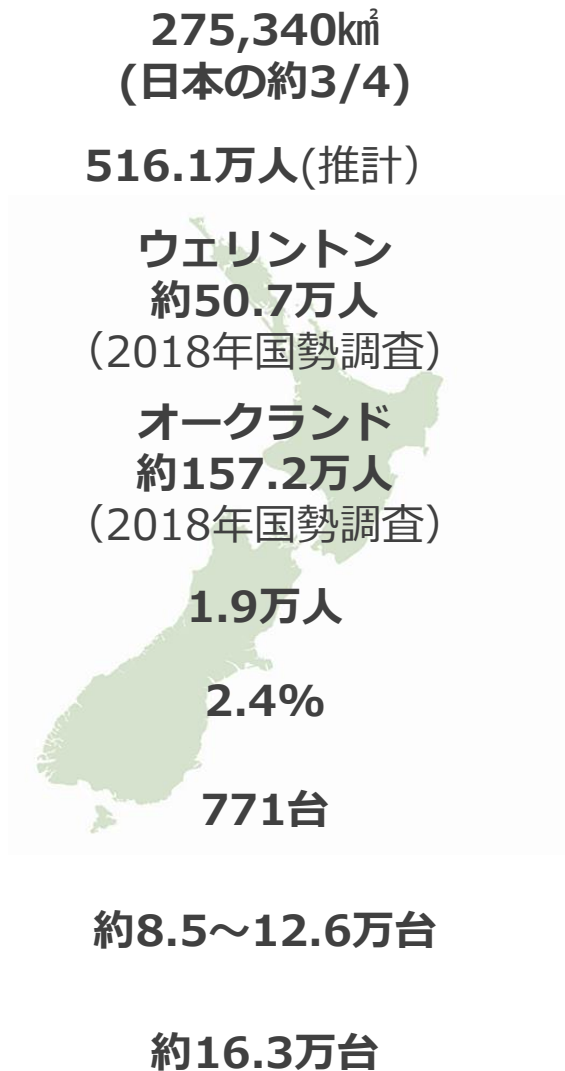
# チャレンジの継続(セグメント別)

セグメント	主なチャレンジ
 <p>貿易</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ ニュージーランド市場シェアの拡大及び販売網の強化</li> <li>□ 新たなバリューチェーンの起点となるオーストラリア市場への販路構築</li> <li>□ 欧州などその他市場での新たな販路構築</li> </ul>
 <p>物流</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 既存ビジネスの強化と貿易セグメントの拡大を支える物流確保</li> <li>□ グループ外取引での新商材・新仕向地開拓</li> <li>□ ニュージーランド・オーストラリアでのM&amp;A含む現地物流・港湾ビジネスの拡充</li> </ul>
 <p>サービス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ オートローン事業の健全性維持と効率的拡大</li> <li>□ 新規事業・商材の発掘によるエンドユーザー向け事業の再構築と収益化</li> </ul>
 <p>検査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 貿易セグメントの拡大を支える経営効率化・事業基盤強化</li> <li>□ 検査・検疫で社会に貢献する新規事業の確立（種苗検査）</li> <li>□ オーストラリアでの検査事業の模索</li> </ul>
 <p>オーストラリア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 既存の国内中古自動車売買・データ事業の更なる拡大と他事業との連携強化</li> <li>□ 周辺新事業の発掘と新たなバリューチェーン構築によるオーストラリアモデルの構築</li> </ul>
 <p>新地域</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 移動手段の変革も見据えた新たな商材の開拓</li> <li>□ ニュージーランド・オーストラリアモデルを基礎とした新地域への展開模索</li> </ul>

# 当社グループのマーケット特性

## ■主要数値比較

New Zealand



国土

人口(2022年)

首都(人口)

最大都市(人口)

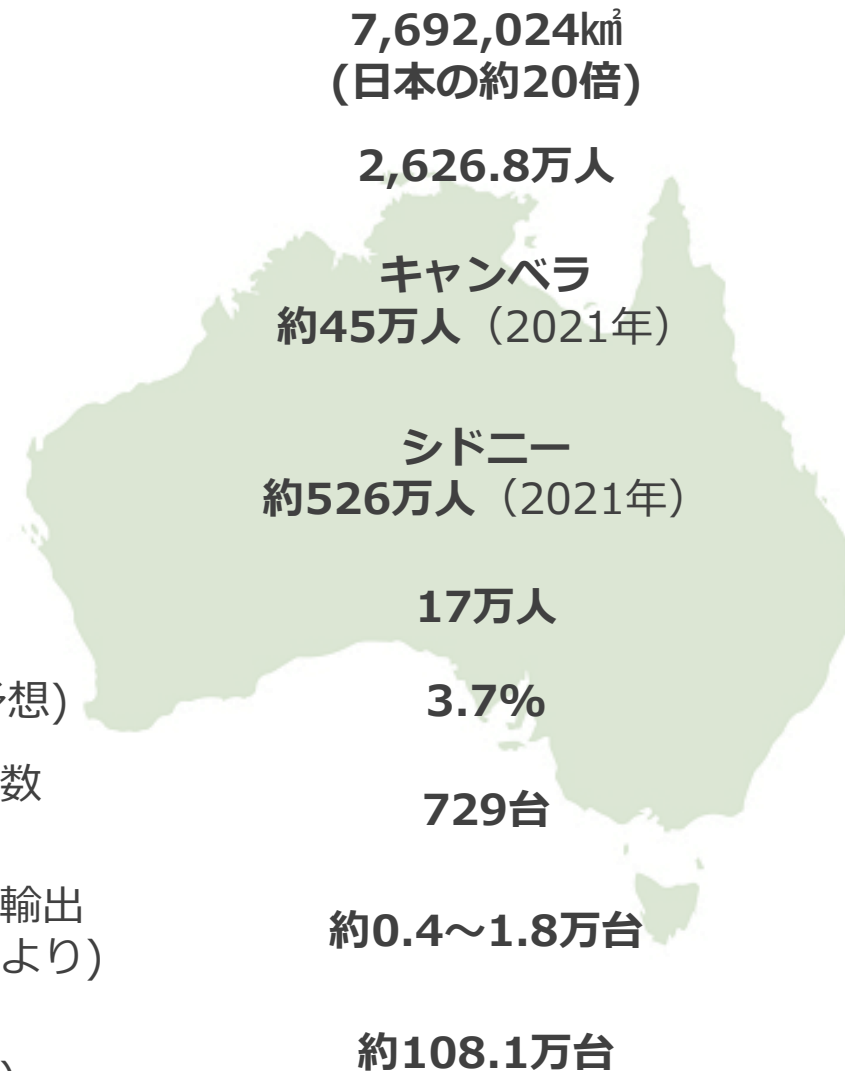
移民数(2022年)

GDP成長率(2022年IMF予想)

千人当たり自動車保有台数  
(2019年)

日本からの中古自動車概算輸出  
台数(2017~2022年統計値より)

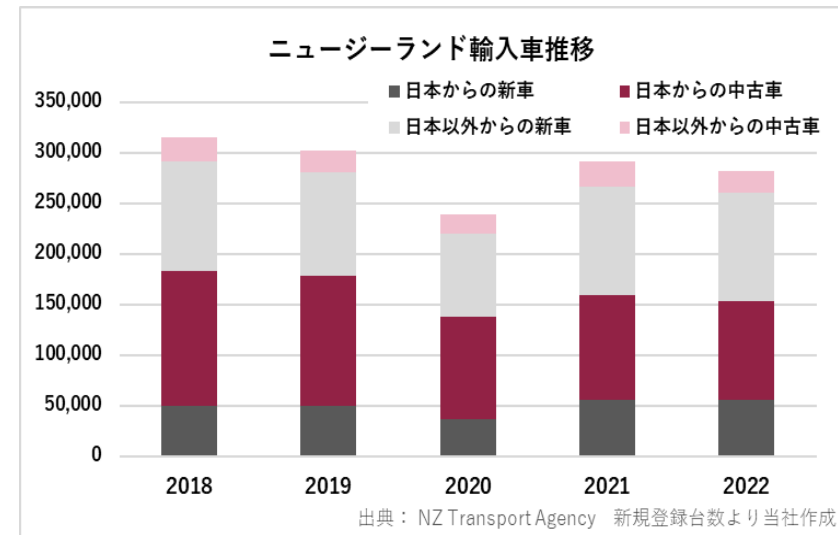
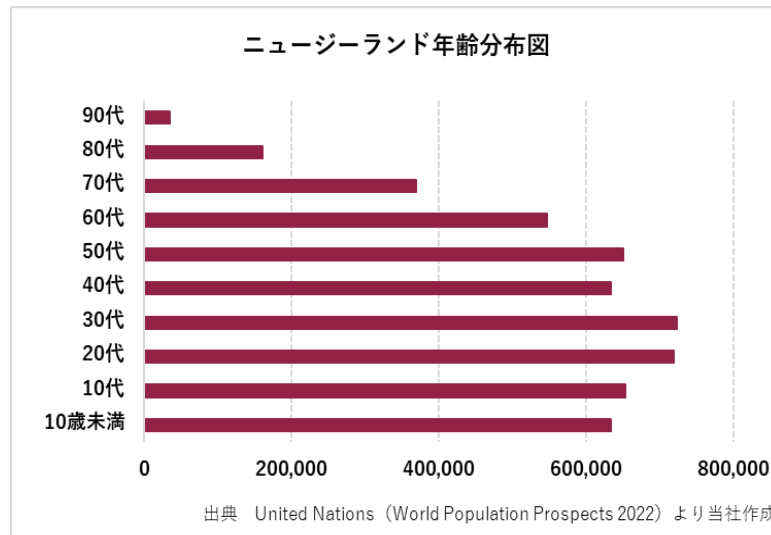
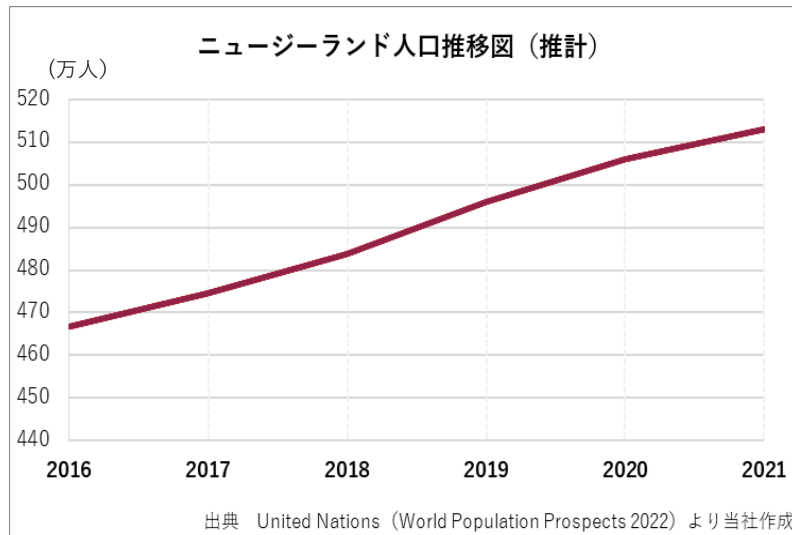
新車登録台数  
(2022年乗用車/商用車)



Australia

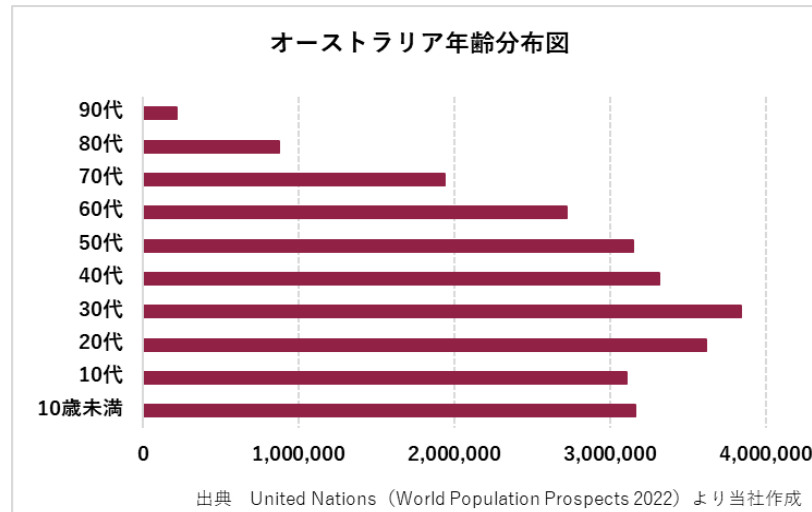
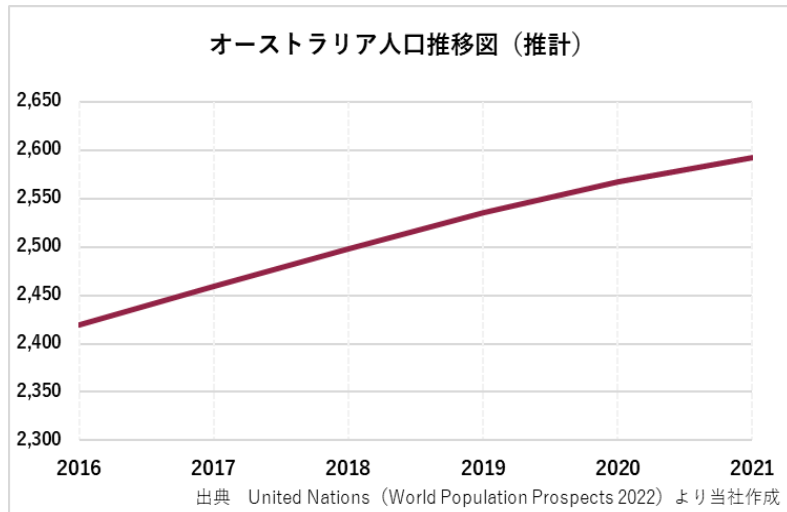
# 事業環境～ニュージーランド

- 移民政策により継続的に人口が増加し、公共交通機関が限られているため、移動手段として自動車利用が多い。
- 自動車の利用ニーズの高いプライムエージワーカーの比率が高い。
- 国内に自動車メーカーがなく、全て輸入車になるため自動車への輸入関税がない。
- アングロサクソン系先進法治国であり、商慣習相違リスクやカントリーリスクが少ない。GDP成長率も高く市場として安定的且つ継続的な成長が見込む。



# 事業環境～オーストラリア

- 移民政策により継続的に人口が増加し、公共交通機関が限られているため、移動手段として自動車利用が多い。
- 自動車の利用ニーズの高いプライムエージワーカーの比率が高い。
- 国内に自動車メーカーがなく、全て輸入車になるため自動車への輸入関税がない。
- アングロサクソン系先進法治国であり、商慣習相違リスクやカントリーリスクが少ない。
- 中古自動車の輸入には様々な制限があったが、政策が見直され門戸が開かれつつある。
- GDP成長率も高く市場として安定的且つ継続的な成長が見込む。
- 従来より日本車のシェアが高く、日本車の優位性が既に定着し、備わっている。



## ■マーケット概況

コロナ禍、CCS導入、政策金利利上げなどの逆風あるも、世界的な新車供給低迷やコロナ後の国境再開などを背景に、生活必需品としての自動車の需要は底堅さを見せています。但し、物流逼迫の改善状況、今年度に予定されている総選挙の影響を踏まえたきめ細かな対応が要請されています。

## ■当面の戦略

種々逆風下、当社グループ会社(株)日貿によるニュージーランド市場戦略が奏功し、シェアは拡大を続けてきました。このシェアを安定的に確保しつつ、中長期的な物流逼迫対応を模索しながら、バリューチェーン全体での効率的な収益拡大を目指しています。



### ■マーケット概況

自動車の供給をこれまでほぼ輸入新車に頼っていたオーストラリアでは、7月より生活必需品である自動車自体の供給不足を解消するため、施行が延期されていた中古自動車の輸入規制が緩和されました。当社は既に中古自動車を輸入するパイロット事業を行っていますが、これをコアに、当社の輸入型のビジネス展開が可能となりつつあります。

### ■当面の戦略

従来の市場完結型ビジネスモデルの追求は継続しつつ、ニュージーランドモデルでの知見を活かしてオーストラリア市場に適したバリューチェーンの構築を進めています。





- 04 会社概要
- 09 事業内容/ビジネスモデル
- 14 今後の事業戦略と展望
- 23 Appendix**

# 2024年3月期1Q連結実績及び通期予想

単位： 百万円	2023年 3月期 1Q実績	2024年 3月期 1Q実績	対前期比 増減	対前期比 増減率	2023年 3月期 実績	2024年 3月期 予想見直し	対前期比 増減	対前期比 増減率
売上高	16,655	<b>17,266</b>	611	3.7%	54,953	68,000	+13,047	+23.7%
営業利益	979	<b>1,254</b>	275	28.1%	2,997	4,500	+1,503	+50.2%
経常利益	903	<b>906</b>	3	0.3%	2,702	4,150	+1,448	+53.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	617	<b>611</b>	-6	-1.0%	2,312	2,600	+288	+12.5%
資産	51,203	<b>58,383</b>	7,180	14.0%	50,375	-	-	-
負債	33,916	<b>40,107</b>	6,191	18.3%	33,492	-	-	-
純資産	17,287	<b>18,275</b>	988	5.7%	16,882	-	-	-

※1NZ\$ = 82円、1AU\$ = 90円で想定



# 2024年3月期連結業績予想

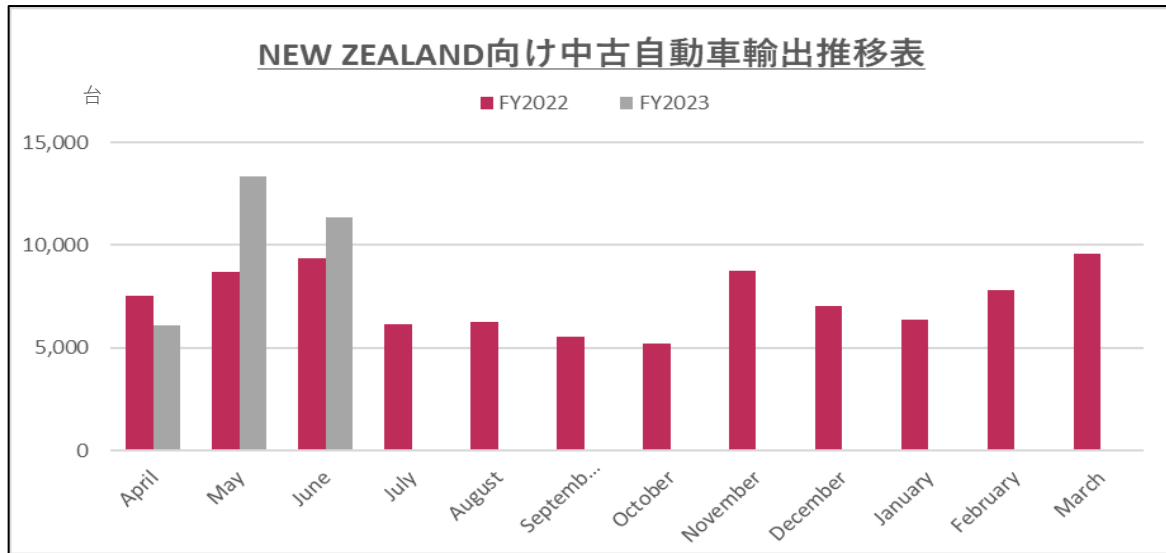


売上高	ニュージーランド向輸出は <b>シェアを維持・拡大</b> 、他地域での <b>大幅な輸出台数増加</b> や <b>自動車ローンの新規件数増加</b> により増収を計画。
経常利益	輸出及び周辺事業での <b>中古自動車取扱増加</b> 、 <b>オーストラリア事業</b> 投資からの <b>利益拡大</b> 等により、暖簾償却負担を含む販管費の増加や借入利息増加を凌駕した増益を見込む。
当期純利益	<b>前期に特別利益計上</b> （Blue Flag連結子会社化による既存持分の再評価）あり、また利益税金計算上損金とならない暖簾償却の影響で当期の <b>税率が相対的に上昇</b> 。

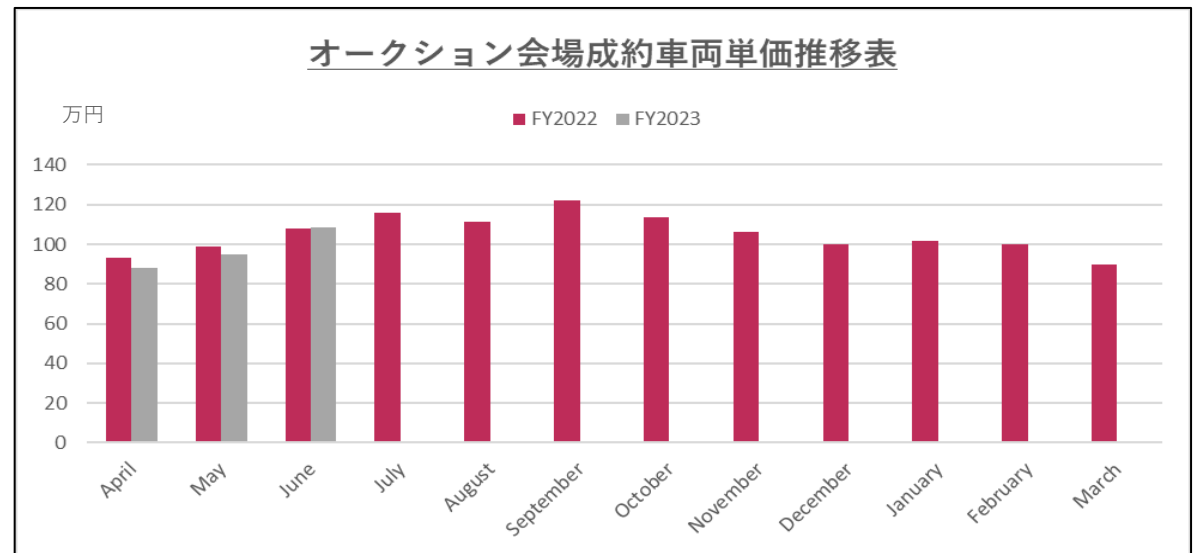
単位：百万円	2023年3月期 実績	2024年3月期 期首計画	2024年3月期 予想見直し	対前期比 増減	対前期比 増減率
売上高	54,953	63,000	68,000	+13,047	+23.7%
営業利益	2,997	4,050	4,500	+1,503	+50.2%
経常利益	2,702	3,950	4,150	+1,448	+53.6%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,312	2,420	2,600	+288	+12.5%

※1NZ\$ = 82円、1AU\$ = 90円で想定

# 事業環境:各種データ



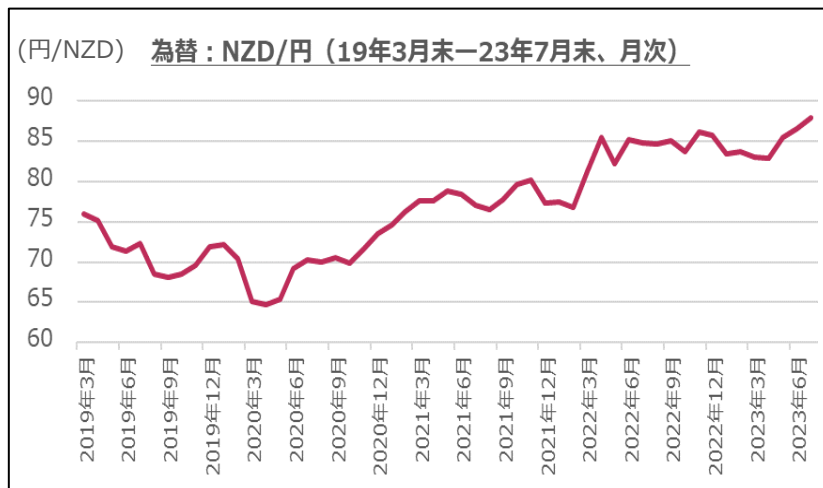
出所：財務省「貿易統計概況品別推移表」より当社作成



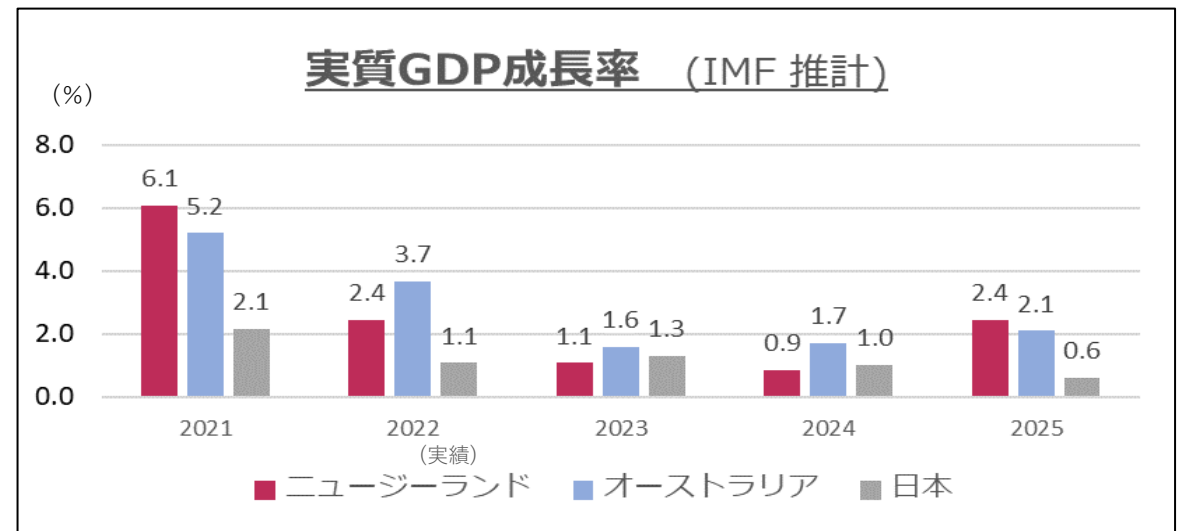
出所：株式会社ユー・エス・エス「オークションデータ」より当社作成

年度平均	(円/NZD)
2019 /3期	75.57
2020 /3期	70.41
2021 /3期	71.16
2022 /3期	78.27
2023 /3期	84.46
2023/6期(1Q)	85.01

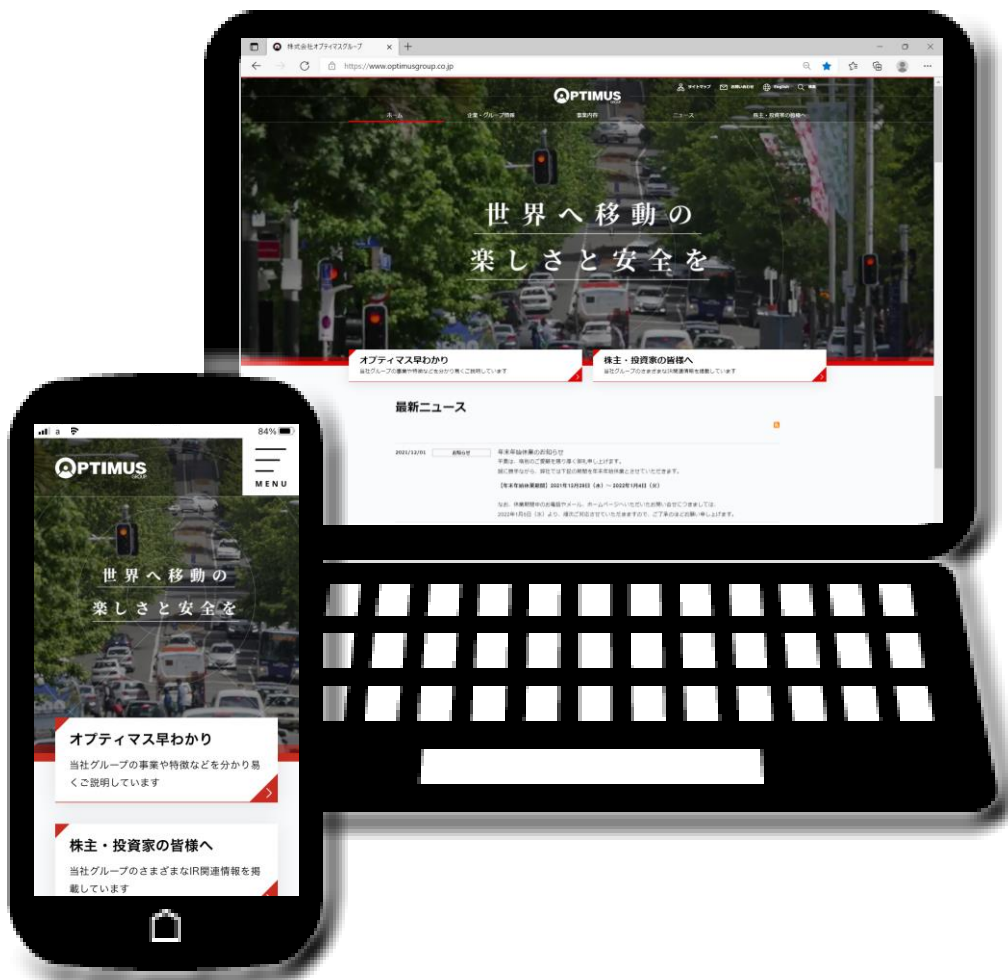
出所：みずほ銀行  
各年度の日次レートの平均



出所：みずほ銀行の月次平均レートより当社作成



出所：IMF「World Economic Outlook April 2023」のデータより当社作成



株主・投資家の皆様に当社の情報を発信しております。

今後も内容を充実してまいりますので、ぜひご覧ください。

<https://www.optimusgroup.co.jp/>

## ■ 主要コンテンツ

- 企業・グループ情報
- 事業内容
- ニュース
- 株主・投資家の皆様へ
- オプティマス早わかり
- サステナビリティ

# 本資料お取扱い上のご注意

- ✓本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を通して、当社をご理解いただくために作成されたものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
- ✓本資料に記載された将来の業績に関する記載は、当社が将来の業績を保証するものではなく、現時点において入手可能な期待・見積・予想および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を有しております。
- ✓将来の業績は、経済情勢などの当社の経営環境、事業環境の変化等により予告なく変更することがございます。  
予めご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

総務・IRユニット

Mail:[info@optimusgroup.co.jp](mailto:info@optimusgroup.co.jp)

Tel:03-6370-9268 (IR直通)